



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

世界の投資マネーの動きは年明け後、リスク許容度の拡大という潮目の変化をより明確にしたフローが定着し始めたようです。

金融危機以降の需要低迷は、日本のみならず先進国経済全体のデフレリスクを増大させ、それが日米独国債への巨額な資金流入につながっていましたが、現状では米金融当局による大胆な金融緩和がデフレシナリオを終焉させ、米市場の株高期待の高まりが株式市場の下支えとして、下値切り上げを実現させています。米国経済は減税延長が年末商戦に有効に働き、消費者心理が好転し始めた上に主要企業の好決算が確認されて、明らかに自律回復力を増しています。

一方で新興国経済は高水準の成長を維持させつつも過熱感に否めず、インフレ対応による引き締めから調整局面にあり、今年の世界の実体経済と金融市場を両面から下支えするのは、米国主導で日独を加えた主要先進国経済の回復ということになりそうです。

さて日本は相変わらず政治がだらしく、この停滞は政界再編へとつながる混乱を予想させますが、こうしてメディアが突っついている間に、民間企業はアジア需要の獲得へと生き残りへ本気の行動を積み上げています。2010年の対アジア貿易は5割を突破し、世間が日本悲観論花盛りのなか、今回も超円高の試練が日本企業の体力強化を促すことになり、力ある日本企業のアジア経済における存在感はけっこう大きくなっているのです。

世界の機関投資家は、いまこぞって引き下げ過ぎた日本株の投資比率を上方修正へと一斉に動いており、あまりにも安く放置され続けた反動がようやく顕在化してくるとの強い期待を持っています。

とはいえ無論、徹底した長期投資の「セゾン号」は、決して市場マインドの好転にはしゃぐこともなく、これまでの仕込みの成果を見極めながら、相変わらずゆったりのんびり世の中を俯瞰して進んでいくのみです。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

SAISON Vanguard Global Balanced Fund

1月の市場動向

株式：【先進国は引き続き上昇したものの、インフレ懸念の高まる新興国は軟調】

米国の金融緩和策の長期化観測などを受けて、先進国の株式市場は引き続き上昇基調となりましたが、食料品価格の高騰などによりインフレ懸念が高まっている新興国では金融引き締めへの警戒が高まり、多くの国で株式市場が軟調な展開となっています。

債券：【利上げ観測の高まりを受けてユーロ圏主要国の国債が下落】

米国債は金融緩和策の長期化観測から底堅い展開となりました。一方、ユーロ圏ではインフレ率の上昇を背景に一部で利上げ観測が高まったことを受けて主要国の国債が下落しました。日本の国債も1ヶ月を通じて軟調な推移となりました。

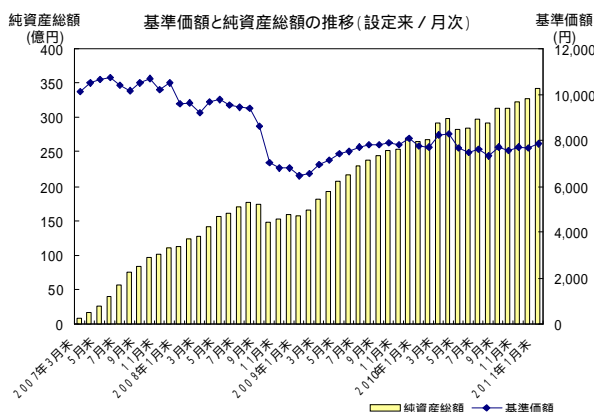
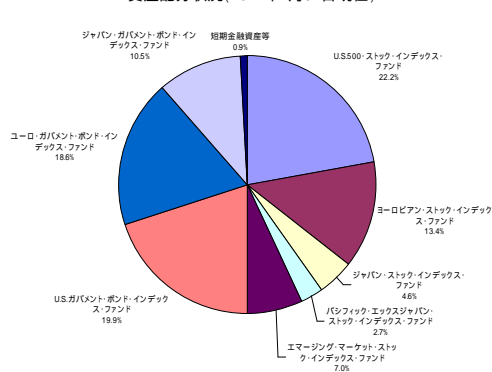
為替：【周縁国の債務問題への懸念の後退と利上げ観測の高まりを背景にユーロが反発】

ユーロは中盤以降、周縁国の債務問題への懸念が後退したことや一部で利上げ観測が高まったことを背景に反発し上昇しました。ドルはユーロに対して下落したものの、全体で見ると底堅い展開となりました。円は1ヶ月を通じて軟調な展開となりました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2011年1月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
7,841円	341.8億円	-21.59%	2.43%	2.95%	0.76%

資産配分状況(2011年1月31日現在)



1月の運用状況

今月の投資スタンス

当ファンドは、定められた投資比率に従って、株式及び債券への投資を行っております。

ファンドマネジャーからの一言

1月は株式市場が米国を中心に上昇基調となるなかで、為替市場で円がやや下落基調となったことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

投資先ファンドでは、投資比率の大きな米国の株式市場が上昇したことが主な上昇要因となり、為替面では対ドル、対ユーロで円安が進んだことが上昇要因となりました。

変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

運用部 瀬下 哲雄

図1 1月度の投資先ファンド価格の変動による影響
月末の投資比率に基づく概算値 / 投資先ファンド通貨建て

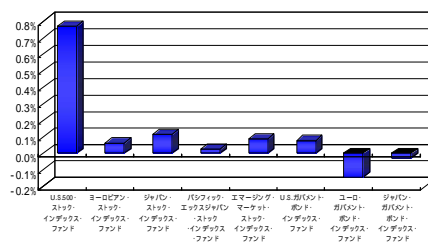
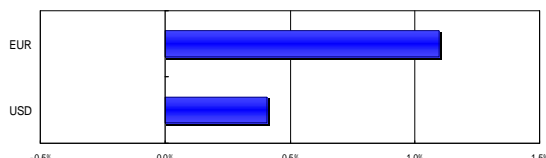


図2 1月度の為替変動による影響
月末の投資比率に基づく概算値



当ファンドの特色

幅広いリスク分散

世界 30 ヶ国以上の株式と 10 ヶ国以上の債券に分散投資。だからリスクを分散して安定的な成果が期待できます。

国内最低水準の手数料

販売手数料ゼロ。購入時に余分なコストのかからないノーロードファンドです。同じタイプのファンドの中では国内最低水準の手数料を目指しました。

バンガード・グループのファンドに投資するファンド・オブ・ファンズ

バンガード・グループは世界最大級の投信会社です。また、ローコスト・ハイクオリティ運用のリーダーとして認められています。投資家の利益を守るため、長期投資の重要性を訴え続けています。

長期投資の為のファンド

長期のパフォーマンスを最優先するため、分配金は全て再投資します。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1% の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.4935%（税抜 0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.74% ± 0.03%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 349 号

加入協会：社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口 : 03-3988-8668（受付時間 9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）